

(様式 1)

## 令和元年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
富山県こどもみらい館 子ども支援課

2 施設所在地  
射水市黒河字高山4774番 6

3 施設設置年度  
平成 4 年度

4 設置目的  
児童に健全な遊びの機会と場を提供して、その健康を増進し、及び情操を豊かにするとともに、地域の児童館その他の関係機関等との連携を図り、もって次代の社会を担う児童の健全な育成に寄与する。

5 施設概要  
鉄筋コンクリート造 地上 2 階、地下 1 階建て  
建物面積 4,014.5㎡  
(地下 1 階部分372.2㎡、1 階部分2,285.4㎡、2 階部分1,347.6㎡、エレベーター部分9.3㎡)

6 指定管理者  
公益財団法人富山県民福祉公園

7 指定期間  
5 年  
平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日

### 8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

H27	H28	H29	H30	R1
198,736	200,491	176,253	170,040	150,734

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

H27	H28	H29	H30	R1
2	5	15	4	9

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H27	H28	H29	H30	R1
-	-	-	-	-

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

利用者数は、150,734名とH30年度より減少しており開館依頼最少の来館者となっている。2月までの来館者についてはH30年度と同水準であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月2日から臨時休館していることが大きな原因である。

今後とも「子どもから愛される身近な施設」、「何度でも利用して子どもの成長を促す遊び事業」を念頭に、遊びプログラムの開発及び事業運営に努めていただきたい。

### (2) サービス向上に向けた取組み

①魅力ある企画事業等の実施、遊びや集団活動の機会提供等の充実

②県内児童館等の交流促進、情報提供、巡回活動や調査研究、指導者、ボランティアの育成など、地域の児童健全育成活動支援の充実

③施設運営等の工夫改善

・5月の大型連休、夏休み期間中は開館時間を1時間延長(9-17→9-18)

・5月の大型連休、6月の太閤山ランドあじさい祭り及び夏休み・春休み期間中は休館日を設けず、連日開館

・冬季期間における無料バスの運行

④快適な施設の提供

・休憩ロビーの一部床の張り替え

### (3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校、児童館をはじめとする関係施設機関など約1,700箇所年に6回「こどもみらい館通信」を配布するとともに、ホームページで最新のイベント等を紹介するなど情報の提供に努めている。

また、県の広報番組を活用し、遊び方やイベント情報を発信した。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ①アンケート結果

実施方法	・一般来館者・利用団体を対象に行事やプログラムに関する利用者アンケートを年2回実施している ・一般来館者を対象に満足度調査を年2回（利用者アンケートと同時実施）を実施 ・常時、館内にアンケートを配置するとともに、団体客の来館時には団体用アンケートを実施
回答者数	満足度調査 第1回(8/18)：回収97/配布119 第2回(11/10)：回収147/配布173 団体アンケート 回収65/配布159
結果	・利用者の約8割がリピーターであり、2回以上来館している利用者が約8割、10回以上が約4割となっている。 ・満足度調査の結果、ほとんどの項目で8割を超える利用者の満足を得ている。 ・遊びのプログラムについては、約6割が満足しているが、約2割は参加していない。 ・約2割が県外からの来館者であり、石川県からの来館が最も多い。
結果を踏まえた改善事項	・今後も「何度でも利用したくなる施設」を念頭に事業運営に努め、個々の活動プログラムの質的な向上に努める必要がある。

②その他利用者の声を反映させる取組み

こどもみらい館運営委員会を開催し、学識経験者や関係団体の代表の方から意見を伺っている。

③主な苦情と対応

・来館者の長時間場所取り、中学生が走り回って危険との苦情があったため、目に余るようであれば職員が注意するなど対応を行う。  
・2階入り口エントランスブリッジの錆による劣化や、洗面台蛇口の機能性について苦情があったが、令和2年度に修繕を行い改善予定である。

(5)個人情報保護の取組み

職場ミーティング等随時、職員に周知や注意喚起を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6)関係団体との連携

太閤山ランドとの連携によりイベント等を開催した。

(7)施設・設備の維持管理

大型遊具の定期点検をはじめ適切に管理されている。点検等において不具合のあった箇所は直ちに修繕している。

(8)危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、危機管理マニュアルを作成し、職員に周知や注意喚起を図っている。

## 10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	2
無	—
無	—

### 【トラブルの具体的内容と対応】

なし

## 11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・入館者が減少傾向にあることから、イベント情報をはじめとした情報発信に一層取り組むとともに、魅力ある企画事業、プログラムの開発・実施に取り組んでいただきたい。

・利用者の要望を常にくみ取り、児童健全育成の関係団体や専門家の意見を聞き、こどもみらい館運営委員会等で示された方向性に従って、企画事業の充実やプレーバスを活用した巡回活動事業等による地域児童館等とのネットワークの充実を図るとともに、楽しく、かつ、安全な施設運営に努めていただきたい。

・常に経費削減を念頭に業務内容の点検を継続するとともに、より一層、太閤山ランドとの連携を強化するなどの運営改善に努めていただきたい。

・新型コロナウイルス感染症感染拡大がこどもみらい館運営に与える影響は大きく、今後の動向に十分注視し、予防対策に取り組み、児童が安心して遊べる場の提供に努めていただきたい。